

研究課題名	原発性肝癌患者における腫瘍内細菌に関する解析
研究期間	2025 年 12 月 18 日 ～ 2029 年 3 月 31 日
研究の対象	広島大学病院消化器外科で原発性肝癌に対して肝切除が行われた患者のうち、先行研究「消化器癌研究のためのデータベース登録（E2014-0922）」および「肝癌患者における血中循環腫瘍細胞の検討（E2016-0320）」において同意が得られ、肝切除および採血が行われた方
研究の目的・方法	<p>研究目的：肝癌の門脈浸潤は高頻度で強力な予後不良因子であるが、その詳細なメカニズムや対策は明らかにされていません。一方、近年口腔細菌と消化器癌との関連性が着目されており、肝癌患者の腸内細菌叢において口腔細菌が多く検出されるとの報告 (Diagnostics (Basel). 2023 26;13(21):3324. PMID: 37958220) や、肝腫瘍内に細菌が存在しているとの報告 (Sci Rep. 2021 19;11(1):10589. PMID: 34012007) がみられ、このような消化管と肝臓の環境が肝癌の門脈浸潤に関わる可能性が考えられます。本研究では、腫瘍内細菌叢解析や免疫学的解析と、循環腫瘍細胞 (CTC) の解析を結びつけることにより、門脈血中 CTC が獲得する形質の探索とその機序を探索することを目的とします。</p> <p>研究の方法：先行研究「消化器癌研究のためのデータベース登録（E2014-0922）」で採取した切除組織の凍結保存切片から DNA を抽出します。研究用の ID を付与した DNA 検体を九州大学に送付し細菌 16S rRNA 遺伝子解析により腫瘍組織のマイクロバイオーーム解析を行います。得られた切除組織中の細菌構成の解析結果と、「肝癌患者における血中循環腫瘍細胞の検討（E2016-0320）」で得た解析結果、既存資料を照合解析します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：年齢、性別、病歴、血液検査結果、画像検査結果、「肝癌患者における血中循環腫瘍細胞の検討（E2016-0320）」で得た解析結果等</p> <p>試料：手術で切除した肝組織の凍結保存切片</p> <p>試料・情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科学 消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹</p>
利用または提供を開始する予定日	2025 年 12 月 18 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	・九州大学（共同研究機関）への情報提供は、パスワード設定したエクセルデータをメール送信によって行います。

	<ul style="list-style-type: none"> ・研究で得られた微生物由来の塩基配列データは DDBJ Sequence Read Archive に登録し研究者間で共有します。 ・研究用の ID を付与した DNA 検体は九州大学（共同研究機関）へ送付します。
研究組織	<p>本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段秀樹</p> <p>研究機関の長 広島大学理事 田中純子</p> <p>研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段秀樹</p> <p>共同研究機関 九州大学大学院歯学研究院 口腔予防医学分野 教授 竹下徹</p>
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。</p> <p>なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5222 広島大学大学院医系科学研究科学消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹 准教授 小林 剛</p>